

朝日小学校からの報告

活動団体名： 朝日小学校

活動人数： 18人（教員1名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1回目：6月8日（木）朝日小学校前水路 ☁ 2回目：6月23日（金）朝日山神社前水路 ☁
3回目：7月6日（木）延勝寺地区河川 ☁

今年度の調査は、網で川底を探り指標生物の調査を行うことで水質階級の判定、水温計を使用した川の水温の調査、気温計を使用した気温の調査、メジャーを使用した川幅・水深の調査、ストップウォッチとメジャーを使用した流速の調査、網や目視での川底の状態調査、水のおい、水のにごりパックテストを使用したCOD値の調査を行いました。

活動中の子ども達は、採集網やざる、ピンセットをグループで分担して使いながら生き物の採集をしていました。水に濡れたり冷たかったりすることもありましたが、多くの生き物を捕まえようと主体的に調査に関わる姿が見られました。指標生物からわかる水質階級の結果とCOD値の結果が違うこともあり、講師の先生の話からその理由を考える姿もありました。3回の調査で別の川を調べることで、それぞれの川に棲む生き物が違うことに気付いていました。



3回の調査後、他の川を調べてみたいという意欲を高めている児童も多かったです。

調査員の感想

【子ども達の学習のまとめから】

- 水のにごりや水温、速さ、川底の状態で、棲んでいる生き物が違うことがわかった。
- みずすましの調査をする前は生き物は全然いないと思っていたけど、たくさん見つかりました。
- きれいな川に棲んでいるはずの生き物が濁っている川に住んでいて、不思議に思いました。

捕まえた生き物たち

サワガニ、ガガンボ類、トビゲラ類、カゲロウ類、シジミ類、カワニナ、ヒル類、ユスリカ、イトミミズ、スジエビ、ヌマエビ、ヨコエビ、サナエトンボ、ハグロトンボ、コオニヤンマのヤゴ、アメリカザリガニ、ナベブタムシ、タイコウチ、ササノハ貝、カタハ貝、ドブ貝、マツカサ貝、シマアメンボ、アユ、ナマズ、ヤツメウナギ、ギンブナ、ハゼ、エビノコバン、ドンコ、カワムツ、ウツセミカジカ

調査のまとめ

朝日小学校前水路と朝日山神社前水路では、どちらもⅡ少し汚れているの指標生物を多く見つけました。どちらの水路もカワニナが一番多く見つかり、学校周辺の水環境は昨年度と変わりなく生き物にとって棲みやすく保たれていることがわかりました。延勝寺地区河川では、水質環境の判定がⅡ少し汚れているでしたが、COD値は8という結果でした。延勝寺地区の河川は、地下水と朝日小学校区の田んぼの水が混じっていることが背景にあるのではないかと考察しました。また、琵琶湖に近いこともあり、琵琶湖に棲む生き物を見つけることもできました。

実際に調査を行うことで、水のにごりや水温、速さ、川底の状態、調査前後の天気等によって水質環境が変わることがよくわかりました。



活動の様子



【朝日小学校前水路調査】



【多くの生き物を発見】



【みんなで協力して採集】



【朝日山神社前水路調査】



【ヤゴ発見！】



【延勝寺地区河川調査】



【琵琶湖からの生き物も！】



【透明ケースでじっくり観察】

